

パンデミックプログラミング：COVID-19期間中の在宅勤務が ソフトウェア開発に携わる専門家にどのような影響を与えているかの調査

あなたは、私、ダルハウジー大学コンピュータサイエンス学部（カナダ、ノバスコシア州ハリファックス）の准教授であるD. ポール・ラルフ博士と、アデレード大学コンピュータサイエンス学部（オーストラリア、南オーストラリア州アデレード）の講師であるセバスチャン・バルテス博士が実施している研究への参加を要請されています。

本研究の目的は、COVID-19期間中の在宅勤務がソフトウェア開発に携わる専門家のウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）と生産性にどのように影響しているかを探ることです。本研究の結果は論文にまとめ、査読付きの学術誌や国際会議で発表する予定です。

本研究の参加者として、Google Formsを利用したオンライン調査において、あなたの健康状態、生産性、また、これらに影響する可能性のある様々な要因についての質問に答えることが求められます。このオンライン調査に回答するのに約20分かかります。

データ収集が完了すると、全ての回答はGoogleのサーバーからダウンロードされ、サーバー上から消去されます。データはD. ポール・ラルフ博士の所属するダルハウジーにあるセキュアなクラウドストレージに暗号化されて保存されます。データはパスワードで保護された研究者のコンピュータにおいて、Microsoft Excel、SPSS、SmartPLS (<https://www.smartpls.com/>) を使用して分析されます。

この研究への参加不参加は完全に任意です。回答したくない質問に答える必要はありませんし、参加したくなくなった場合はいつでも調査を中止することができます。必要なのはブラウザを閉じることだけです。ただし、オンライン調査に回答した後に気が変わった場合、提供された情報を削除することはできません。これは、オンライン調査が匿名で行われるため、どの回答があなたのものであるかはわからないためです。

ご提供いただいた情報は匿名で収集させていただきます。このオンライン調査では、あなたの名前やその他の個人を特定するために使用される可能性のある情報は求めません。上記に挙げた2名の研究者と日本語版を担当した研究者のみが、完全に匿名である調査結果にアクセスすることができます。

総合的な調査結果は、国際会議でのプレゼンテーションや科学雑誌により公開されます。自由形式の質問への回答をそのまま公開することはありません。データセットに含まれる記録の匿名化を破ることが事実上不可能であると判断した場合に限り、私たちはその匿名データセットを科学データリポジトリで公開します。データセットを公開することは、科学者が研究を再現するのに役立ち、世界に関する知識を向上させるのに役立ちます。ただし、誰かがデータの一部を個人に結びつけることができるかもしれないと考えられる場合は、データセットを公開せず、5年後（2025年5月1日）に削除します。

この研究に関連するリスクは、あなたが日常的に遭遇するリスクよりも大きくはありません。

この研究に参加しても直接の利益はありません。しかし、少なくとも130件の回答を得た場合、私達は500ドルをオープンソースプロジェクトに寄付します。参加いただいた場合は、アンケートの最後に好きなプロジェクトに投票するチャンスがあります。さらに、本研究は、この危機の間、企業が従業員をより良くサポートする方法についての提言を生み出す可能性があります。また、あなたの会社がこれらの提言のいくつかを実施するかもしれません。

あなたの情報がどのように使われているかをご覧になりたい方は、2020年6月1日以降に私のウェブサイト (<https://paulralph.name>) にアクセスしてください。調査結果の説明を掲載します。

このプロジェクトや調査についてご質問がある方は、お気軽に paulralph@dal.ca または sebastian.baltes@adelaide.edu.au までお問い合わせください。喜んでお答えします。

この研究への参加について倫理的な懸念がある場合は、以下の連絡先までご連絡ください。研究倫理、ダルハウジー大学（電話：(902) 494-1462）または電子メール：ethics@dal.ca（reference REB file # 2020-5116）。

このオンライン調査の日本語版は、奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域の助教である畑秀明が担当しております。日本語でのお問い合わせは hata@is.naist.jp でもお受けいたします。